

## がん化学療法レジメン登録票

新規レジメン登録の際にはプロトコルの提出が必須です  
プロトコルがない場合は参考文献を提出してください

レジメン名	GEM+CDDP(2)
診療科名	泌尿器科
診療科責任者名	太田 智則
適応がん種	尿路移行上皮がん
保険適応外の使用	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

がん治療ワーキンググループ使用欄	
登録番号	Ur-009
登録日・更新日	2008年11月7日 2019年8月27日更新
削除日	
出典	Anti-Cancer Drug 2006; 17(6): 705-8.
入力者	安岡 由佳

投与順に記入(抗がん剤のみ)

	薬剤名: 一般名 (薬剤名: 商品名)	規格	投与量算出式	投与経路	投与時間	施行日
	希釈液					
No.1	ゲムシタビン (ゲムシタビン塩酸塩)	200mg, 1g	1000mg/m <sup>2</sup>	□IV ■DIV □CVポート □側管 □その他( )	30分	Day1,8
	生理食塩液	100mL				
No.2	シスプラチン (シスプラチン注)	10mg, 50mg	70mg/m <sup>2</sup>	□IV ■DIV □CVポート □側管 □その他( )	2時間	Day1
	生理食塩液	500mL				

1コースの期間	21日
投与間隔の短縮規定	<input type="checkbox"/> 短縮可能(日) ・ <input checked="" type="checkbox"/> 短縮不可能
計算後の投与量上限値	110%
計算後の投与量下限値	50%

減量・中止基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初回開始時、WBC 2000/mm<sup>3</sup>以上、Plt 15万/mm<sup>3</sup>以上、Hb 9g/dL以上必要</li> <li>・中高度の心不全のないこと</li> <li>・シスプラチンはジェムザール投与の4時間後</li> <li>・Day8はPlt 7万5千/mm<sup>3</sup>以上およびANC 1000/mm<sup>3</sup>以上になるまで投与しない</li> <li>・CDDPは腎機能がCockcroft-Gault式で30~50mL/分であれば延期し、30mL/分未満で中止</li> <li>・Grade3の毒性が発現している場合は投与延期し、Grade4で投与中止</li> </ul>
前投薬	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Day1: メトクロプラミド 10mg IV 分1、デキサメタゾン 8mg IV 分2、ラモセトロン 0.2mg PO 分2</li> <li>・Day2: メトクロプラミド 10mg IV 分4、デキサメタゾン 8mg IV 分2、ラモセトロン 0.2mg PO 分2</li> <li>・Day3: メトクロプラミド 10mg IV 分4、デキサメタゾン 4mg IV 分2、ラモセトロン 0.2mg PO 分2</li> <li>・Day8: メトクロプラミド 10mg IV 分1</li> </ul>
その他の注意事項	放射線との同時併用は避ける 血管痛がある場合5%ブドウ糖への変更が可能

記入者	太田 智則
確認者	安室 修